

[4] 航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト

| 成長・雇用戦略2017での方向性 | 今年度の進捗状況 | 次年度の展開 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|-----|---------|---------|---------|--------|--------|-------|------|--------|--------|-------|-------|------|------|-------|------|--|--|
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県が市場の拡大を取り込み、航空宇宙産業を発展させていくためには、同産業に対する総合的な支援が必要 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各拠点を活用した切れ目のない航空宇宙分野の人材育成・確保 ・小中学生：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館における航空宇宙への興味喚起、将来の就業促進 ・高校生：モノづくり教育プラザにおける航空宇宙産業教育の実施・就業促進 ・就業者：岐阜県成長産業人材育成センターでのスキルアップ研修の充実 ○海外展開や競争力強化、他産業からの新規参入、宇宙分野進出の支援 ○中部各県等と連携した規制緩和や税制・金融措置による事業環境の整備 | <p>＜人材育成・確保の取組み充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を活用した人材育成と観光誘客の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を活用し、小中学生向け教育プログラムを実施 (52校・小中学生3,298人) ・サンクトペテルブルク歴史博物館、モスクワ市立宇宙飛行士記念博物館、K.ツィオルコフスキ記念国立宇宙飛行史博物館（ロシア）との連携に関する賞書締結 ・JAXA（宇宙航空研究開発機構）や海外の博物館等と連携し展示物等を充実させ魅力向上につなげる ○「モノづくり教育プラザ」を活用した航空宇宙産業教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・航空機部品の加工・組立実習等を行うモノづくり教育プラザ（1号館：H29.4、2号館：H31.4）を活用し、教育課程の中で航空機の設計、加工、組み立て、検査の一連の行程を学ぶ実習を実施 ・産業界の協力のもと、実践型・現場対応型の航空機製造工程実習（通年、参加者7名）、及び航空機製造技術体験研修（R1.7～8、参加者15名）、航空機産業CAD/CAM体験研修（R1.7～8、参加者21名）を実施 ○「航空宇宙生産技術開発センター」における人材育成・研究開発事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙産業の生産技術に関する人材育成・研究開発に取り組む「航空宇宙生産技術開発センター」を岐阜大学内に立ち上げるとともに、施設整備に着手 ・学生に対する実践的な人材育成講座や、企業課題を解決する生産技術に関する共同研究等を実施 ○「岐阜県成長産業人材育成センター」における産業人材（在職者）の育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・同センターにおいて、航空機組立技術や非破壊検査技術など航空機製造に係る技術者の育成研修を実施 <p>＜競争力強化、海外展開支援、他産業からの新規参入、宇宙分野への進出＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業の競争力強化や新規受注獲得への支援強化 <ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙産業分野への新規参入や新たな受注獲得のため、新たな生産体制構築や認証取得に必要な経費等を支援（5件） ・エアロマート名古屋（各務原市と共同で8小間）において、県がブースを確保し県内企業の出展を支援 ○「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中部5県等と連携し、国際戦略総合特区制度を活用した税制支援等による事業環境整備を推進（県内23市町57企業） | <p>＜人材育成・確保の取組み充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リニューアル後の博物館を活用した人材育成と観光誘客の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラム用教材の改良 ・JAXAや海外の博物館等との連携による魅力向上  <p>岐阜かかみがはら航空宇宙博物館展示</p> <p>○「モノづくり教育プラザ」を活用した高校生への航空宇宙産業教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・産業界の協力に基づくモノづくり教育プラザ（1号館・2号館）を活用した航空機製造実習を推進 </p> <p>○「航空宇宙生産技術開発センター」における人材育成・研究開発事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・R3年1月に拠点施設の完成予定、施設を活用した人材育成及び研究開発を本格的に実施 </p>  <p>航空宇宙生産技術開発センター完成イメージ図</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>KPI（数値目標）の状況</p> <p>県内航空宇宙産業の製造品出荷額</p> <table border="1"> <tr> <td>H26年</td> <td>H29年</td> <td>R2年</td> </tr> <tr> <td>2,571億円</td> <td>2,217億円</td> <td>4,000億円</td> </tr> </table> <p>航空宇宙産業人材育成数(累計)</p> <table border="1"> <tr> <td>～H27年度</td> <td>～H30年度</td> <td>～R2年度</td> </tr> <tr> <td>584人</td> <td>3,175人</td> <td>3,500人</td> </tr> </table> <p>岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 リニューアルオープン後の入館者数(年間)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>H30年度</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>14万人</td> <td>433万人</td> <td>50万人</td> </tr> </table> | H26年 | H29年 | R2年 | 2,571億円 | 2,217億円 | 4,000億円 | ～H27年度 | ～H30年度 | ～R2年度 | 584人 | 3,175人 | 3,500人 | H27年度 | H30年度 | R2年度 | 14万人 | 433万人 | 50万人 | | |
| H26年 | H29年 | R2年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2,571億円 | 2,217億円 | 4,000億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～H27年度 | ～H30年度 | ～R2年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 584人 | 3,175人 | 3,500人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27年度 | H30年度 | R2年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14万人 | 433万人 | 50万人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

航空宇宙産業分野での大学と連携した取り組みについて

航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクト

【課題】 海外や国内大手企業からの様々な要求（コスト削減等）に臨機応変に対応でき、短期かつ低価格で高品質な航空機部品等を生産できる体制の構築

超効率的な生産工程を実現するための「生産技術*」の人材育成、研究開発が不可欠

* 実際にモノを作り出すにあたり、工程、設備、管理に関する技術を総合的に理解して最適化する技術

プロジェクトの概要

- 「生産技術」の拠点「航空宇宙生産技術開発センター」を岐阜大学内に設置（R1年度 センター設置
R2年度 拠点施設完成・本格運用開始）
- 高品質・低コスト・短納期なモノづくりが実現できる生産技術者の育成・輩出（R1年度～）
- 航空機・部品製造の超効率的な生産工程を実現するための生産技術に関する研究開発の実施



人材育成事業

- 航空宇宙生産技術システムアーキテクト（生産技術者）を育成し、最先端の航空宇宙生産システムを構築できる人材を地域企業へ輩出
- ・ 企業技術者等による学生向けの実践的な教育プログラム
- ・ 地域企業で働く社会人を対象としたリカレント教育



岐阜大学工学部の学生を対象とした講義「航空宇宙生産技術」の様子

研究開発事業


- 航空機やその部品をロボットが自律的に生産するサイバーフィジカル工場の実現に向けた企業と大学の共同研究等



[5] 成長産業分野振興プロジェクト

| 成長・雇用戦略2017での方向性 | 今年度の進捗状況 | 次年度の展開 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--------|--------|-------|--------|---|-------|---------|-------|---------|------|---------|-------|--------|-------|--------|------|--------|--|
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県成長産業人材育成センター」などを活用し、成長産業分野の発展を支援していくことが必要 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「成長産業人材育成センター」を活用した成長4分野（医療福祉機器・食料品・医薬品・次世代エネルギー）における人材育成 ○健康、福祉、安全、快適等を切り口とした新商品・サービスの創出や産学官連携による福祉・生活支援機器の開発など、医療福祉機器・食料品・医薬品分野の支援 ○次世代自動車・次世代住宅の普及啓発、産学金官連携による研究開発や事業化・製品化の支援など、次世代エネルギー・技術の利活用促進 | <p>＜成長産業分野の人材育成支援体制の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「岐阜県成長産業人材育成センター」における産業人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・同センターを活用し新規参入・事業拡大に向けた研修・セミナーを実施（31回） ・医薬品・食料品分野等をはじめとする軽作業ロボット導入に向けた研修を実施（4回） <p>＜医療福祉機器・医薬品分野等支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療福祉機器等の成長産業分野における新規参入や競争力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉機器関連の海外展示会への出展支援を実施予定（2社） ・（公財）岐阜県産業経済振興センターの医療福祉コーナーデイナータによる県内中小企業の医療福祉機器分野への新規参入・事業拡大に向けた伴走的支援を実施 ・医療現場ニーズ調査・現場見学会を実施（2施設） ・医療福祉機器関連の国内展示会への出展支援を実施（24社） ・医療福祉機器産業界等の競争力強化を助成金により支援（6社） ・電気自動車（EV）産業参入支援に向けた個別企業相談・ワークショップを実施（8社・2テーマ） ○産学官連携によるヘルスケア機器の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・介護ニーズに基づきボジションニング用品の開発（県立飛騨寿薬苑、民間企業と連携） ・軽量材料/情報技術を活用した福祉機器の開発（民間企業と連携） <p>＜食品分野支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新商品の研究開発 <ul style="list-style-type: none"> ・県のクリ新品種「えな宝月」「えな宝来」の特長を引き出し、クリ本来の味をより楽しめる最適な低温熟成条件を見出し、企業への技術移転を実施（栗きんとん、栗おこわ、低温熟成栗を製品化） ・岐阜県オリジナル新酵母「G2酵母」の普及拡大を進め、県内16酒造場で製品化 <p>＜次世代エネルギー分野支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次世代エネルギー・技術の普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に応じた市町村、住民組織等における次世代エネルギーの活用と地域における機運醸成のため、コーナータ及び県職員等による支援チームを編成し、5市町に派遣 ・事業者や市町村等からのエネルギー事業に関する相談件数（83件） | <p>＜成長産業分野の人材育成支援体制の強化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○成長産業人材育成センターにおける産業人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・センターを活用した成長産業分野に関する研修・セミナー等による産業人材育成の促進 ○医療福祉機器・医薬品分野等支援 <ul style="list-style-type: none"> ・専門コーナーデイナータ等による相談対応、医療現場ニーズとのマッチング支援や海外・国内展示会への出展支援等によるモノづくり企業の独自技術を活かした医療福祉機器・医薬品分野等への事業展開を促進 ○産学官連携によるヘルスケア機器の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の推進と成果の普及、連携先企業の製品化 <p>フオロー</p> <p>＜食品分野支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新商品の研究開発 <ul style="list-style-type: none"> ・地域農産品を活用した新商品の開発・実用化 ・岐阜県オリジナル新酵母「G2酵母」の普及拡大  <p>岐阜県オリジナル新酵母「G2酵母」を使用した商品</p> <p>＜次世代エネルギー分野支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次世代エネルギー・技術の普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギー産業創出コンソーシアムを活用した次世代エネルギーに関する調査・研究等に対する支援の実施 ・水素ステーションの設置に対する支援の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>KPI（数値目標）の状況</p> <p>成長産業4分野を対象とした研修受講者数(累計)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>～H30年度</td> <td>1,277人</td> </tr> <tr> <td>～R2年度</td> <td>2,500人</td> </tr> </table> | H27年度 | 0人 | ～H30年度 | 1,277人 | ～R2年度 | 2,500人 | <p>医薬品、医療福祉機器分野の製造品出荷額</p> <table border="1"> <tr> <td>H26年度</td> <td>1,738億円</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>1,993億円</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>2,000億円</td> </tr> </table> <p>再生可能エネルギー導入量</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>102 RU</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>140 RU</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>120 RU</td> </tr> </table> | H26年度 | 1,738億円 | H29年度 | 1,993億円 | R2年度 | 2,000億円 | H27年度 | 102 RU | H30年度 | 140 RU | R2年度 | 120 RU | |
| H27年度 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～H30年度 | 1,277人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～R2年度 | 2,500人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26年度 | 1,738億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29年度 | 1,993億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2年度 | 2,000億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27年度 | 102 RU | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30年度 | 140 RU | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2年度 | 120 RU | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

[6] 観光産業の基幹産業化プロジェクト

| 成長・雇用戦略2017での方向性 | 今年度の進捗状況 | 次年度の展開 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-----|---------|---------|---------|---|------|------|-----|---------|---------|---------|---|------|------|-----|------|-------|-------|
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 本格的な人口減少社会が到来した国内においては、観光地におけるリピーターへの確保や観光消費額のアップに向けて取り組むことが必要 また、急増する外国人観光客を始めとして観光客のニーズが多様化する中、観光地間の誘客競争は一層激化することが予想され、岐阜県ならではの周遊・滞在型観光を定着させることが必要 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり 広域周遊観光の核づくり（関ヶ原古戦場、リニア岐阜駅周辺） 「岐阜の宝もの」等観光資源の市場化 <p>○主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 「世界に誇る遺産」等を核とした国内・海外誘客 <p>○世界に選ばれる観光地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 競争力の高い観光地域づくり（観光産業を支える人材育成、DMO形成） ユニバーサルツーリズムの普及（バリアフリー観光、受入環境整備） | <p><観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり></p> <p>○広域周遊観光の核づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域観光の核となる関ヶ原古戦場の魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> 「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の整備、オープンに向けた準備（R2.7オープン予定） 継続的なイベントの展開（春と秋の武将イベント [R1.5・10]、夏のナイトイベント [R1.7]） 土産物の開発、史跡や案内サインの整備、ガイド養成、ウォーキング・サイクリングコースの設定など 魅力向上や受入環境整備を実施 <ul style="list-style-type: none"> 「東美歴史街道」を核とした周遊観光の促進 東美濃の周遊を促す「観光バスポート」、「岐阜の宝もの」である「東美濃の山城」のPR等を促進 「中山道」や「地歌舞伎」、「美濃焼」等の地域資源を活用した体験プログラムや旅行商品を作成 大河ドラマ「麒麟がくる」を活かした魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> 初回放送パブリックビューイングの開催や、ウェブサイトの等による明智光秀ゆかりの地の魅力発信 ゆかりの地や主要観光地を巡る周遊旅行商品の作成 ゆかりの史跡の解説サイン整備や大河ドラマの世界観を再現する展示施設の設置を支援 <p><主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション></p> <p>○世界に誇る遺産等を核とした誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内誘客 <ul style="list-style-type: none"> サイトに誇る遺産や食に、新たに「戦国・武将」をテーマに加え、特別体験プログラムや大手宿泊予約サイトと連携した特別宿泊プランを造成など、集中的な誘客キャンペーンを展開 海外誘客 <ul style="list-style-type: none"> 匠の技や自然アクティビティ等の着地型旅行商品を造成するとともに、ワンストップサービスの実現及びデジタルマーケティングの基盤となる海外向け観光情報ウェブサイトをリニューアル <p><世界に選ばれる観光地域づくり></p> <p>○競争力の高い観光地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> DMO形成の一環として県観光連盟に設置された「岐阜県観光人材研修センター」において、宿泊施設の経営者層等を対象に、おもてなしや生産性向上・働き方改革について実践的なセミナーを実施 学生や転職・再就職希望者を対象に、県内宿泊施設での短期インターンシップ等を実施 <p>○ユニバーサルツーリズムの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域やテーマ別の研修等を通じ、本県の魅力を的確に伝えられる質の高い外国語観光ガイドを育成 消費税免税店登録や案内板等の多言語化、Wi-Fi 環境整備、トイレの洋式化、多言語コミュニケーションツールの導入等、外国人観光客の受け入れ環境整備に取り組み県内観光事業者を支援 | <p><観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり></p> <p>○広域周遊観光の核づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域観光の核となる関ヶ原古戦場の魅力づくり 「岐阜関ヶ原古戦場記念館」のオープンと併せ、イベント開催や受入環境整備により、関ヶ原古戦場の魅力を創出及び発信  <p><主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション></p> <p>○世界に誇る遺産等を核とした誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> 「戦国・武将」を組み合わせた誘客キャンペーンや、訪日予約客に対するターゲット広告の発信による誘客強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>KPI (数値目標) の状況</p> <p>観光消費の経済波及効果</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年</td> <td>H30年</td> <td>R2年</td> </tr> <tr> <td>4,214億円</td> <td>4,172億円</td> <td>5,000億円</td> </tr> </table> | H27年 | H30年 | R2年 | 4,214億円 | 4,172億円 | 5,000億円 | <p>観光入込客数(実数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年</td> <td>H30年</td> <td>R2年</td> </tr> <tr> <td>4,360万人</td> <td>4,603万人</td> <td>4,600万人</td> </tr> </table> | H27年 | H30年 | R2年 | 4,360万人 | 4,603万人 | 4,600万人 | <p>外国人延べ宿泊客数</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年</td> <td>H30年</td> <td>R2年</td> </tr> <tr> <td>93万人</td> <td>148万人</td> <td>150万人</td> </tr> </table> | H27年 | H30年 | R2年 | 93万人 | 148万人 | 150万人 |
| H27年 | H30年 | R2年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4,214億円 | 4,172億円 | 5,000億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27年 | H30年 | R2年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4,360万人 | 4,603万人 | 4,600万人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27年 | H30年 | R2年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 93万人 | 148万人 | 150万人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

[7] 企業誘致・設備投資促進プロジェクト

| 成長・雇用戦略2017での方向性 | 今年度の進捗状況 | 次年度の展開 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|----------|-------|---------|-------|--|---------|-------|---------|--------|--------|--------|--|
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外的要因や経済変動に影響を受けにくい産業構造の構築に向け、成長分野の企業集積が必要 ・工場用地の減少傾向に対応するため、関係市町村等と連携し、計画的な工場用地の開発が必要 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○成長分野の企業集積に向けた誘致活動の展開 ○東海環状自動車道沿線での市町と連携した戦略的・計画的な工場用地開発 ○東海環状自動車道全線開通やリニア中央新幹線開業を見据えた企業誘致 ○企業の成長分野への進出・生産性向上のための機械設備の更新支援 | <p><企業立地の促進></p> <p>○成長分野の企業を対象とした誘致活動の展開 ・誘致活動や流出防止のための企業面談等を実施 (成長分野企業 247 件)</p> <p>○リニア中央新幹線開業を見据えた企業誘致 ・地域の特性・強みを生かした企業立地を促進し、地域経済の活性化を目指すため、市町村と県が連携し、工場用地開発や、大都市圏等の企業にリニア開業による利便性の高さなどの優位性をアピールする面談等を実施 (504 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア開業による利便性の高さなど、東濃クロスエリアの優位性を紹介するPR動画やリーフレットを作成し、大都市圏で開催される企業展や企業訪問時にPRを実施するとともに、企業役員等の購読が見込まれるビジネス雑誌にPR広告を掲載 ・本社機能移転誘致に向け、東京 23 区からの移転には、事務所移転費や機器リース料等の上乗せ助成するなど、補助制度を拡充 (R1. 10～) <p>○工場用地の戦略的な開発 ・市町村と連携した工場用地の開発可能性調査を実施 (5 市町・5 箇所 74. 2ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場用地開発に関する専門知識を有するアドバイザーを派遣し課題解決を支援 (3 市) <p><設備投資の支援></p> <p>○中小製造業に対する県単独での低利の設備貸与の支援 ・中小製造業の技術力 (競争力) を向上するため、低利率の設備貸与事業により、中小企業の機械設備や I・T 設備の投資を促進 (9 件・240, 762 千円)</p> <p>○県制度融資による県内中小企業者に対する資金調達の支援 ・中小企業者の経営安定及び設備の近代化、合理化を図るため、県制度融資による支援を実施 (1, 585 件・13, 037, 023 千円)</p> | <p><企業立地の促進></p> <p>○リニア中央新幹線開業を見据えた企業誘致 ・成長分野企業の誘致活動に加え、拡充した補助制度を活用して、首都圏企業等の本社機能移転誘致活動を推進</p>  <p>(株)三井ハイテック 岐阜事業所 (可児市) (自動車用モーターコアの製造)</p>  <p>NGKセラミックデハイス(株) 多治良工場 (多治良市) (半導体製造装置用セラミックスの製造)</p> <p><設備投資の支援></p> <p>○中小製造業に対する県単独での低利の設備貸与の支援 ・中小製造業の成長分野への進出や生産性向上のため、引き続き低利な貸与制度を継続し、機械設備の導入を支援</p> <p>○県制度融資による県内中小企業者に対する資金調達の支援 ・長期固定の低金利で信用保証料の一部を補助する県制度融資により、中小企業者の資金繰りを支援</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>KPI (数値目標) の状況</p> <p>製造業の企業立地件数(累計)</p> <table border="1"> <tr> <td>H26～27 年</td> <td>78 件</td> </tr> <tr> <td>H26～30 年</td> <td>196 件</td> </tr> <tr> <td>H26～R2年</td> <td>260 件</td> </tr> </table> | H26～27 年 | 78 件 | H26～30 年 | 196 件 | H26～R2年 | 260 件 | <p>新たな工場用地開発面積(累計)</p> <table border="1"> <tr> <td>～H27 年度</td> <td>32 ha</td> </tr> <tr> <td>～H30 年度</td> <td>115 ha</td> </tr> <tr> <td>～R2 年度</td> <td>300 ha</td> </tr> </table> | ～H27 年度 | 32 ha | ～H30 年度 | 115 ha | ～R2 年度 | 300 ha | |
| H26～27 年 | 78 件 | | | | | | | | | | | | | |
| H26～30 年 | 196 件 | | | | | | | | | | | | | |
| H26～R2年 | 260 件 | | | | | | | | | | | | | |
| ～H27 年度 | 32 ha | | | | | | | | | | | | | |
| ～H30 年度 | 115 ha | | | | | | | | | | | | | |
| ～R2 年度 | 300 ha | | | | | | | | | | | | | |

企業誘致に関する取り組み及び実績

(1) 平成30年工場立地動向調査結果

○ リーマンショック以降最多の立地件数

<平成30年の工場立地動向（製造業）>
立地件数 43件（全国6位）
立地面積 55ha（全国8位）

<平成30年の主な立地企業>
日本ガイシ(株)（名古屋） [多治見市 / 20.0ha]
(株)ギフ加藤製作所（岐阜市） [大野町 / 2.9ha]

(2) リニア中央新幹線の開業を見据えた企業誘致

○ 東濃クロスエリア本社機能移転推進会議

| | |
|------------|---|
| 構成メンバー（委員） | 県、多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市、可児市、御嵩町及びエリア内の商工会議所・商工会、金融機関 |
| 開催実績 | 計3回開催（平成30年4月発足） 計26人 |
| 誘致成果 | <ul style="list-style-type: none"> 中津川市に製造子会社のある大同特殊鋼（株）が同市に研究所を設置することが決定。 中津川市に産業用高圧ガス事業者の研究施設を設置することが決定。 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> 本県とゆかりのある企業への本社機能移転誘致活動の展開 PR動画作成やビジネス雑誌への広告掲載等PR活動を展開 首都圏で開催される企業展への出展・訪問によるPR活動 本社機能移転誘致場所の発掘・調査 |

(3) 東海環状自動車道西回りルート沿線の企業誘致

○ 西回りルート沿線（17市町）における企業立地件数及び工場用地開発状況

| | H27 | H28 | H29 | H30 | 計 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|----|
| 企業立地件数（件/年） | 9 | 16 | 12 | 13 | 50 |
| 工場用地開発面積（ha/年度） | 10 | 8 | 14 | 23 | 55 |

○ 新たな工業団地及び主な進出企業の状況

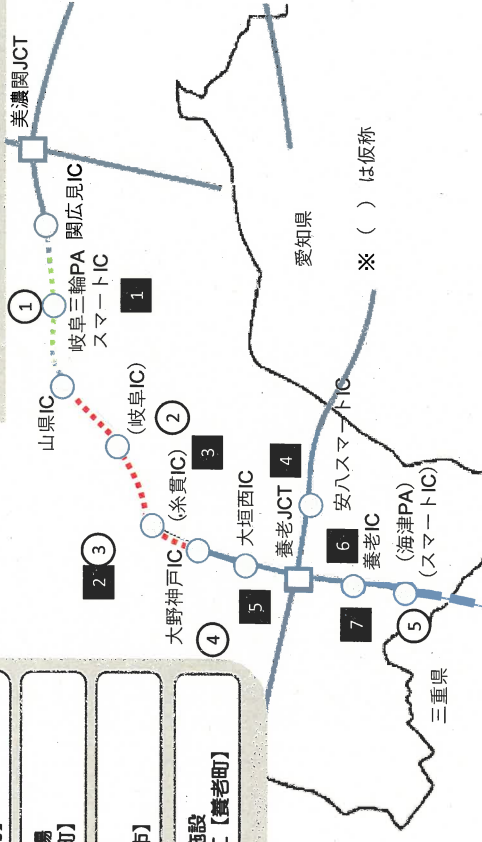
【主な進出企業】

- アジア屋紙(株) 新工場 R2 操業予定【山県市】
- (株)ギフ加藤製作所 新工場 H30.7立地協定締結【大野町】
- 大洋電機(株) 新工場 R3.7 操業予定【北方町】
- (株)オークワ・オーテリカ ファクトリー-安八工場 H29.2 操業【安八町】
- 未来工業(株) 垂井工場 H29.9 操業【垂井町】
- 大垣精工(株) 新工場 H31.3 操業【大垣市】
- (株)サラダコスモ 新施設 R1.10 建設工事完工【養老町】

【新たな工業団地】

- 三輪地域ものづくり産業等集積地（工業団地）※計画（約14ha）【岐阜市】
- 北方町企業誘致エリア【北方町】※分譲中（約10ha）
- テクノパーク大野【大野町】※分譲中（約6ha）
- 府中離山工業団地【垂井町】※分譲中（約4ha）
- 駒野工業団地【海津市】※適成・分譲中（約10ha）


岐阜県



○ 東海環状自動車道西回りルート開通状況

| 開通済み | 令和元年度開通見込 | 令和6年度開通見込 |
|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 大野神戸IC～養老IC (.....) | 関広見IC～山県IC：年度内開通 (.....) | 山県IC～大野神戸IC (.....) |

[8] 企業技術力強化支援プロジェクト

| 成長・雇用戦略2017での方向性 | 今年度の進捗状況 | 次年度の展開 | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-------|---------|------|---------|-------|---------|-------|---------|------|---------|---|
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の技術力向上や新製品開発を支援するとともに、成長分野に参入するための高度な技術支援も必要 ・工業系試験研究機関での更なる産学官連携推進や、IoT等の活用・導入支援に関する機能強化を図るソフトラビオジャパンとの連携強化が必要 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工業系試験研究機関の再編・集約による企業支援機能の強化 ・工業系3試験研究機関を集約した「モノづくり拠点」の整備 ・岐阜大学との協定に基づく「岐阜県食品科学研究所」の整備 <p>○工業系試験研究機関とソフトラビオジャパンとの連携強化による県内製造業のIoT導入・活用支援</p> | <p><工業系試験研究機関の機能強化></p> <p>○「岐阜県食品科学研究所」の開所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と岐阜大学の「食品科学分野の連携に関する協定」に基づき、大学敷地内に産業技術センター食品部の機能を移転し、大学との連携のもと、地域食材等を生かした研究開発や各種技術支援、実践的教育・人材交流による専門人材育成を行う「岐阜県食品科学研究所」を整備、4月に開所 ・食品業界を対象とした研究成果発表会の岐阜大学との共同開催や食品科学研究所設備の共同活用を通して、産学官の交流を促進 <p>○「岐阜県産業技術総合センター」の開所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県工業技術研究所に、県産業技術センター及び県情報技術研究所の機能を集約し、繊維、紙、刃物をはじめとする特色ある地場産業から航空機などの成長産業まで、県の製造品出荷額ベースで約75%の幅広い分野に対応する「岐阜県産業技術総合センター」を整備、6月に開所 ・これまで各研究所が蓄積してきた各分野（機械・金属・プラスチック・化学・石灰・繊維・紙・情報・メカトロニクス）の基盤技術を活用・融合した新たな素材開発や生産性の向上など、革新的モノづくり技術の開発に着手 <p>○「岐阜県産業技術総合センター」における試験研究機器の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズに応じた評価・分析機能を強化するため外部資金を活用して試験研究機器を整備 <ul style="list-style-type: none"> 「EMC試験装置（車載機器規格）」…車載用の電子制御機器製品の開発に必須な評価・試験 「蛍光X線分析装置」…マルチマテリアル素材の表面元素の分析や、多層メッキの厚み等の測定 ・航空機・自動車等の工業部品の評価や開発に必要な研究開発機器を整備 <ul style="list-style-type: none"> 「表面粗さ計」…JIS規格に基づき、工業製品等の部品加工面の表面粗さを測定・評価 「複合材料試験加工機」…様々な機能材を複合化し、フィルム、ペレット等の形態で試作材料を開発 | <p><工業系試験研究機関の機能強化></p> <p>○県内産業の生産性向上・技術力強化に向けた人材育成・技術支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業全般を対象にした基盤技術の習得や、特定の産業分野に特化した専門知識の習得など、総合的かつきめ細やかな研修による次世代を担う企業技術者の育成 ・企業の商品開発を支援する「商品開発技術プロモーター派遣事業」を実施 <p>○試験研究機器の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界要望を元に、各種規格等に対応した試験研究機器を整備 | | | | | | | | | | | |
| <p>KPI（数値目標）の状況</p> <p>依頼試験件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>17,204件</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>18,522件</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>24,000件</td> </tr> </table> <p>開放機器件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>18,799件</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>15,268件</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>21,000件</td> </tr> </table> | H27年度 | 17,204件 | H30年度 | 18,522件 | R2年度 | 24,000件 | H27年度 | 18,799件 | H30年度 | 15,268件 | R2年度 | 21,000件 |  <p>EMC試験装置</p> <p>ウォータージェット加工機</p> <p>放糸繊維用横編機</p> <p>実験用配向性抄紙機</p> <p>産業技術総合センターの試験研究機器</p> |
| H27年度 | 17,204件 | | | | | | | | | | | | |
| H30年度 | 18,522件 | | | | | | | | | | | | |
| R2年度 | 24,000件 | | | | | | | | | | | | |
| H27年度 | 18,799件 | | | | | | | | | | | | |
| H30年度 | 15,268件 | | | | | | | | | | | | |
| R2年度 | 21,000件 | | | | | | | | | | | | |